

掘りだそう、自然の力。

Calbee

カルビーグループ決算説明会

2025年3月期 第3四半期

2024年4月1日～2024年12月31日

TSE code : 2229

カルビー株式会社

2025.2.6

エグゼクティブサマリ

- 第3四半期決算は、四半期、累計ともに過去最高の売上高・営業利益を更新
(業績) 四半期：売上高 64億円の増収、営業利益 1億円の増益
累計：売上高 164億円の増収、営業利益 15億円の増益
- 国内は、前年の過去最高を超える売上高を実現
効果的なマーケティングや営業活動により、スナック、シリアルともに伸長
- 海外は、累計では増収増益、四半期では増収減益、修正計画未達
北米や中華圏で増収増益となるも、英国やインドネシアの減益が響く
- 国内の販売を伸ばすことで、連結全体で通期修正計画の達成を目指す
- せとうち広島工場は1月13日に予定通り稼動開始
マーケティング投資を継続し、来期の販売拡大に備える
- 中長期の国産ばれいしょの安定調達強化に向け、しれとこ斜里農業協同組合と連携

せとうち広島工場の稼動開始

2025年1月13日に予定通り順次稼動開始

コンセプト：「人と地球の笑顔をつくりだす、未来を形にする工場」



- ・ 特徴：優れた環境性能・生産性向上・作業環境改善を実現する最新鋭マザー工場
- ・ 生産能力：年間約280億円
- ・ 主な生産品目：ポテトチップス、堅あげポテト、Jagabee、サッポロポテト

環境

じゃがいもを使い尽くす
エネルギーシステムの導入

DX

食品業界No.1レベルの
自動化・省力化の実現

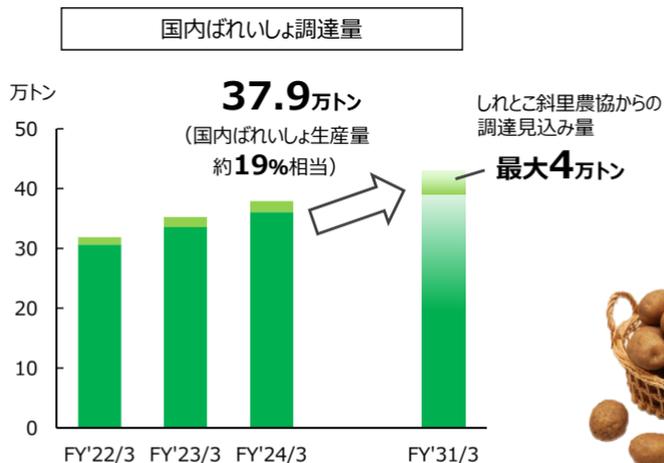
人

安全性と働きやすさの両立

ばれいしょ安定調達に向けた取り組み

国内ばれいしょの安定調達に向けて、 しれとこ斜里農業協同組合との連携を決定

■ 2030目標年間40万トン以上に向けた布石



斜里町で生産された
自社開発品種「ぼろしり」



■ 冷凍食品事業にも本格的に参入



冷凍食品「ポテリコ」

<斜里町での新工場建設>

投資総額	約200億円（共同出資）
生産品目	「ポテリコ」他
運営	カルビーグループ
操業開始	2028年3月期（予定）

2025年3月期第3四半期累計業績（9か月）

売上高 2,438億円（対前年+164億円、対計画+ 9億円）
営業利益 252億円（対前年+ 15億円、対計画△ 2億円）
当期純利益 184億円（対前年+ 12億円、対計画+12億円）

(億円)	2024年3月期 第3四半期累計 実績	2025年3月期 第3四半期累計 実績	伸び率	2025年3月期 第3四半期累計 修正計画	修正計画比
売上高	2,273	2,438	+7.2%	2,429	100.4%
国内	1,723	1,836	+6.5%	1,822	100.8%
海外	550	602	+9.4%	607	99.1%
営業利益	237	252	+6.5%	254	99.3%
営業利益率	10.4%	10.4%	△0.1pts	10.5%	△0.1pts
国内	208	221	+6.1%	218	101.1%
海外	29	32	+9.3%	36	88.5%
経常利益	260	264	+1.4%	251	105.1%
当期純利益 ※	172	184	+6.9%	172	106.8%

※ 親会社株主に帰属する当期純利益

【参考】：月末為替レート（円/\$）

	3月末	12月末	計画レート
2023年	133.53	↗ 141.83	-
2024年	151.41	↗ 158.18	142.0

2025年3月期第3四半期業績（3か月） サマリ

売上高 867億円（対前年+64億円、対計画+ 9億円）
営業利益 103億円（対前年+ 1億円、対計画△ 2億円）
当期純利益 77億円（対前年+14億円、対計画+12億円）

(億円)	2024年3月期 第3四半期 実績	2025年3月期 第3四半期 実績	伸び率	2025年3月期 第3四半期 修正計画	修正計画比
売上高	803	867	+8.0%	858	101.0%
国内	620	660	+6.4%	645	102.2%
海外	183	207	+13.7%	213	97.5%
営業利益	102	103	+1.2%	105	98.3%
営業利益率	12.7%	11.9%	△0.8pts	12.2%	△0.3pts
国内	92	94	+2.0%	91	102.6%
海外	10	9	△6.0%	14	69.5%
経常利益	94	116	+23.4%	103	112.5%
当期純利益 ※	63	77	+22.5%	66	117.9%

※ 親会社株主に帰属する当期純利益

<対前年>

- 売上高は国内・海外ともに過去最高水準
- 営業利益は、コスト高騰や投資の拡大を国内の増収で打ち返す
- 当期純利益は、為替の円安進行による為替差益の計上で大幅増益

<対修正計画>

- 国内は販売数量が伸長し、売上高・営業利益ともに計画を超えるも、海外の未達をカバーしきれず

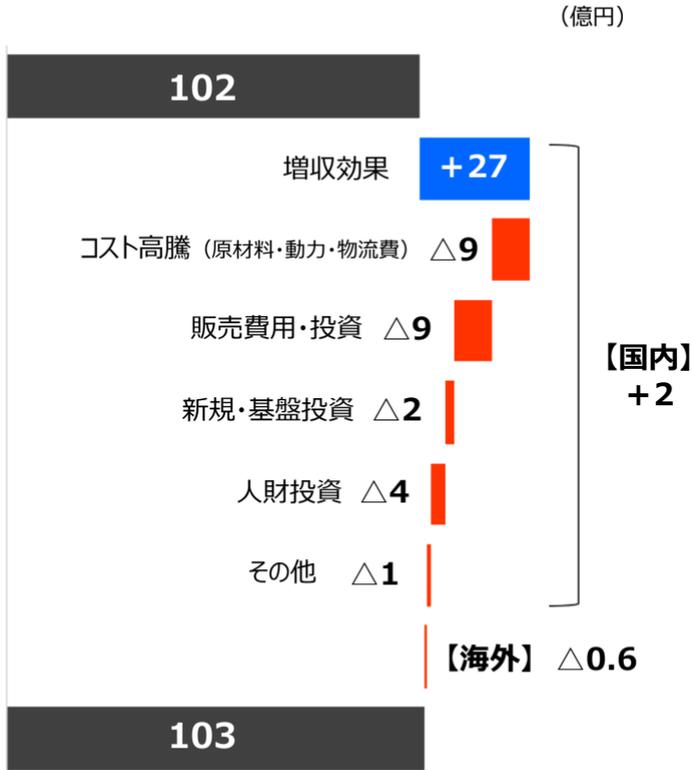
【参考】：月末為替レート（円/\$）

	9月末	12月末	計画レート
2023年	149.58	141.83	-
2024年	142.73	158.18	142.0

2025年3月期第3四半期業績（3か月）

営業利益分析（要素別）

2024年3月期
第3四半期
営業利益



【補足】

- 増収効果：
数量伸長（+7億円）、
S&OP効果やMIX改善等を含む単価改善効果（+20億円）
- コスト高騰：
輸入原料（△5億円）、包材（△2億円）、
国産ばれいしょ（△2億円）、動力費（△1億円）
物流費（前年並み）
- 販売費用・投資：
ブランド価値訴求・強化に伴うマーケティング投資（△5億円）
- 新規・基盤投資：
「Body Granola」の認知拡大に向けた食と健康領域への投資
事業成長や基盤強化のための投資
- その他：
甘しょ事業のロスや生産性を改善するも、
減価償却費、旅費交通費等その他活動費が増加

2025年3月期第3四半期業績（3か月）

国内事業

(億円)	2025年3月期第3四半期		
	前年同期比		
国内売上高	660	+39	+6.4%
スナック	603	+30	+5.2%
ポテトチップス	280	+4	+1.5%
じゃがりこ	127	+8	+6.7%
その他スナック	196	+18	+10.0%
シリアル	75	+12	+19.8%
その他（アグリ・食と健康・役務提供）	54	+4	+7.4%
リポート等控除	△73	△7	—
国内営業利益	94	+2	+2.0%
営業利益率	14.2%	△0.6pts	—
土産用製品（注）	51	+8	+18.8%

※「スナック」「シリアル」「その他（アグリ・食と健康・役務提供）」の売上高はリポート等控除前の金額を記載しています。

（注）土産用製品：ギフト事業の組織統合に伴い、前期の数値を組み替えています

■スナック

- 十分な量を確保した北海道産ばれいしょと生産能力を有効活用し、前年の高い販売水準を超える
- 土産用製品は国内外の旅行需要増加に伴い、伸長継続

■シリアル

- 前年下期以降二桁成長が続き、シリアル市場シェアは4割に到達
- 増量、TVCF、コラボ企画等のマーケティング施策や、営業活動との連携強化が、消費者需要を喚起、向上

■その他

- 甘しょ事業は、卸販売の堅調継続で増収
廃棄ロス削減も、生産性改善や原材料管理が継続課題
- 新規事業「Body Granola」が伸長

2025年3月期第3四半期業績（3か月） 国内事業

スナック（売上高 +5%）

- ポテトチップス：（数量 前年並み）
 - ・ 前年並みの高い販売数量を実現
 - ・ ポテトチップス「うすしお味」等の定番品や「堅あげポテト」が堅調に推移
 - ・ ポテトチップスのサブブランド展開した2品の販売好調も貢献
- じゃがりこ：（数量 △1%）
 - ・ 価格改定後も需要は堅調で、前年の高い販売数量を維持
- その他スナック：
 - ・ 3月にリニューアル発売した成型ポテトチップス「クリスプ」や土産用製品が貢献
 - ・ 小麦系、コーン・豆系スナックは、改定効果もあり売上拡大
 - ・ 「かつぱえびせん」は数量ベースでも堅調

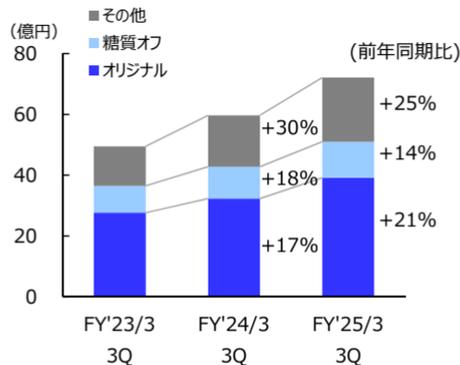


シリアル（売上高 +20%）

※出所：(株)インテージSRI+

- ・ シリアル市場が活性化中、シェア伸長継続（シェア：40%（前年同期比 +3.3pts））※
- ・ オリジナルや糖質オフの大容量サイズが伸長し、販売水準をさらに引きあげる
- ・ 好評なコラボ製品「フルグラ ブラックサンダー味」の販売拡大も貢献

シリアル売上高（国内消費）



コラボ製品「フルグラ ブラックサンダー味」

2025年3月期第3四半期業績（3か月） 海外事業

(億円)	2025年3月期第3四半期			
		前年同期比		為替影響除く 実質伸び率
海外売上高	207	+25	+13.7%	+8.3%
欧米	109	+19	+21.4%	+14.2%
北米	73	+16	+28.3%	+21.4%
アジア・オセアニア	125	+13	+12.1%	+8.0%
中華圏	50	+9	+22.0%	+16.2%
リポート等控除	△27	△8	—	—
海外営業利益	9.4	△0.6	△6.0%	—
営業利益率	4.5%	△1.0pts	—	—
欧米	4.1	△0.5	△11.3%	—
北米	3.3	+1.7	+113.4%	—
アジア・オセアニア	5.4	△0.1	△1.7%	—
中華圏	3.2	+3.5	—	—

※ 地域別の売上高はリポート等控除前の金額を記載しています。

■ 欧米

- 北米が売上高、営業利益を牽引し、英国の不調を一部相殺

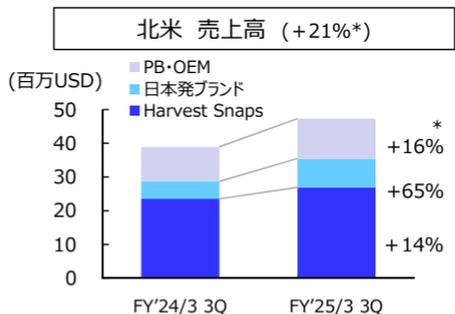
■ アジア・オセアニア

- 中華圏は通関規制影響が一巡し、小売店舗向け販売拡大の取り組み成果が顕在化
- ニュージーランドでの子会社設立に伴う一斉出荷が貢献
- 営業利益は、インドネシアの原材料費の悪化が利益を圧迫するも、中華圏やタイ等の増益で相殺

欧米

■ 北米：

- 「Harvest Snaps」、日本発ブランドともに二桁成長継続
- 日本発ブランドは米系スーパーでの販売拡大や、販売アイテムの増加が貢献
- マデラ工場（PB・OEM生産拠点）は10月より一部の日本発ブランドの現地生産をスタートし、生産増とコスト改善で利益が回復
- 1月にR&D Innovation Center を開設し、新製品開発体制を強化



販売拡大中の
日本発ブランド
「Takoyaki Ball」



現地生産の
日本発ブランド
「ASIAN STYLE
CHIPS」

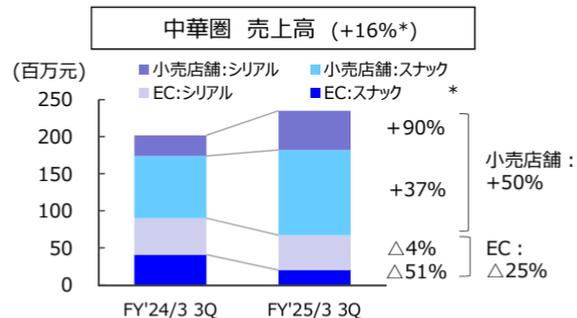
■ 英国：

- 「Seabrook」ブランドの全国チェーン定番化による配荷拡大、日本発ブランドの販売拡大を推進
- ポテトチップス新ラインの稼働安定化に遅れが生じ、生産体制の立て直しを推進

アジア・オセアニア

■ 中華圏：

- 大手小売との取り組み強化や取引先の拡大により、スナック、シリアルともに小売店舗向けの販売が伸長
- 今後も、販売費を効果的に活用し、現地OEM生産品や周辺国からの輸入品の販売拡大を目指す



■ インドネシア：

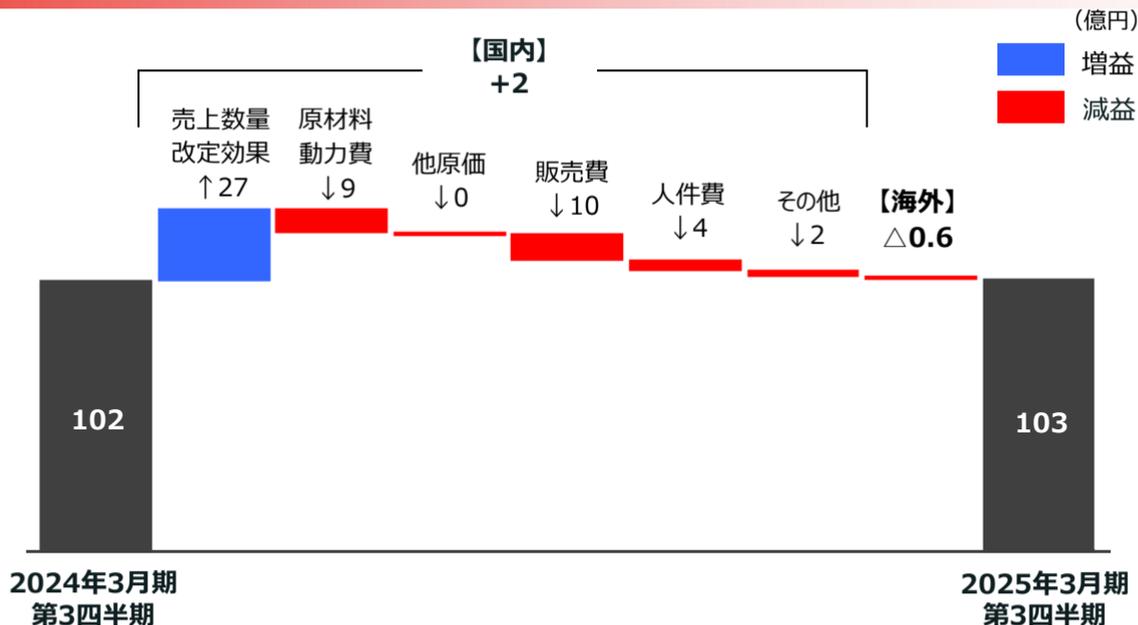
- 新規調達したばれいしょの歩留まり悪化で減益
- 10月にライン増設した「Guribee」等、ばれいしょ以外の原料製品を拡売し、ポテトチップスの減収をカバー
- ライン増強や競合環境を見据えて、新製品の投入やマーケティングを強化

2025年4-6月 価格・規格改定

実施時期	2022年 3月期	2023年3月期			2024年3月期		2025年3月期		2026年 3月期	
	2022年 1-2月	2022年 6-7月	2022年 9-10月	2022年 11月	2023年 6月	2023年 8-10月	2024年 6月	2025年 2月	2025年 4月	2025年 6月
対象製品										
改定率	内容量: △5% 想定価格: +7-10%	内容量: △10% 想定価格: +10-20%	想定価格: +10-20%	想定価格: +10-20%	想定価格: +3-15%	一部 土産用 製品 想定価格: +5-20%	想定価格: +3-10%	内容量: △7-10%	一部 土産用 製品 想定価格: +5-19%	想定価格: +4-10%

參考資料

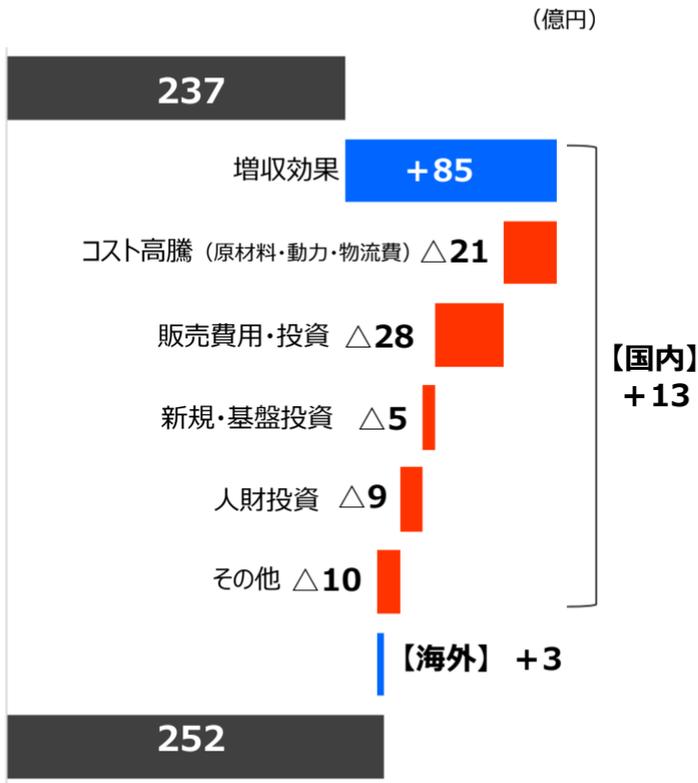
2025年3月期第3四半期業績 営業利益分析（3か月）



- 【補足】** 原材料・動力費：輸入原料△5億円、国産ばれいしょ△2億円、包材△2億円、動力費△1億円
 他原価：労働力不足対応等に伴う人材投資や減価償却費の増加を生産性向上や甘しょ事業のロス改善で相殺
 販売費：マーケティング投資△6億円（新規領域への投資含む）
 その他：物流費前年並み、基盤強化に伴う費用など

2025年3月期第3四半期累計業績（9か月） 営業利益分析（要素別）

2024年3月期
第3四半期累計
営業利益



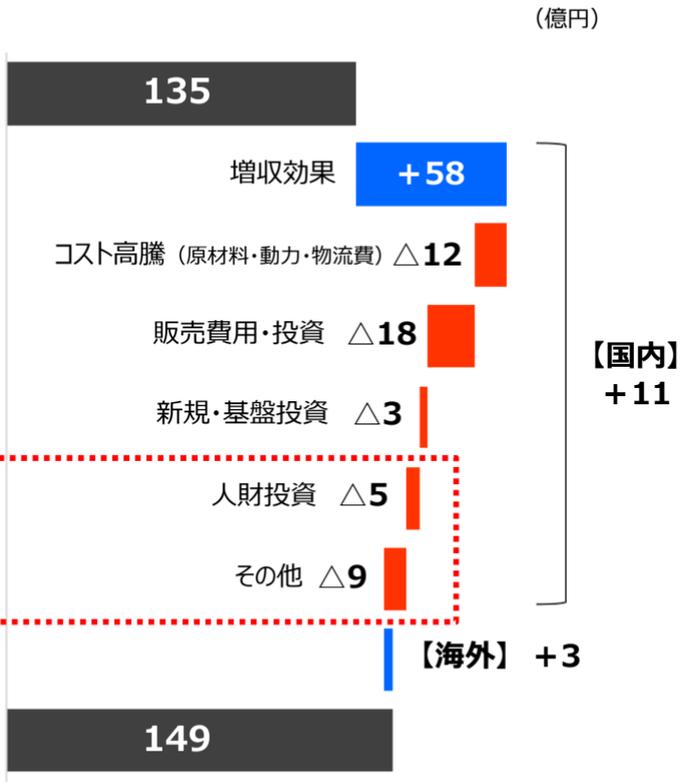
【補足】

- 増収効果：
数量伸長（+15億円）、
S&OP効果やMIX改善等を含む単価改善効果（+70億円）
- コスト高騰：
輸入原料（△13億円）、国産ばれいしょ（△4億円）
動力費（△3億円）、物流費（△3億円）
- 販売費用・投資：
ブランド価値訴求・強化に伴うマーケティング投資（△15億円）
- 新規・基盤投資：
「Body Granola」の認知拡大に向けた食と健康領域への投資
新ライン・新工場の取得関連費用、
事業成長や基盤強化のための投資
- その他：
甘しょ事業のロスや生産性は改善も
減価償却費、旅費交通費等その他活動費が増加

2025年3月期上期業績 営業利益分析（要素別） 修正

修正箇所

2024年3月期
上期
営業利益



【補足】

- 増収効果：
数量伸長（+8億円）、
S&OP効果やMIX改善等を含む単価改善効果（+50億円）
- コスト高騰：
輸入原料（△6億円）、国産ばれいしょ（△2億円）
動力費（△2億円）、物流費（△3億円）
- 販売費用・投資：
ブランド価値訴求・強化に伴うマーケティング投資（△10億円）
- 新規・基盤投資：
「Body Granola」の認知拡大に向けた食と健康領域への投資
新ライン・新工場の取得関連費用、
事業成長や基盤強化のための投資
- その他：
甘しょ事業のロス改善も、
減価償却費、旅費交通費等その他活動費が増加

連結損益計算書

(百万円)	2025年3月期 第3四半期				2025年3月期 第3四半期累計			
		構成比 (%)	前期比 (%)	修正計画比 (%)		構成比 (%)	前期比 (%)	修正計画比 (%)
売上高	86,706	100.0	+8.0	101.0	243,777	100.0	+7.2	100.4
売上総利益	31,138	35.9	+6.4	99.5	85,018	34.9	+9.5	99.8
販売管理費	20,814	24.0	+9.2	100.1	59,768	24.5	+10.9	100.0
販売費	3,842	4.4	+24.5	112.7	10,459	4.3	+25.8	104.3
物流費	6,217	7.2	△1.3	96.0	17,801	7.3	+5.0	98.6
人件費	6,543	7.5	+9.8	99.0	19,170	7.9	+8.9	99.7
その他経費	4,212	4.9	+13.5	98.0	12,336	5.1	+11.8	99.3
営業利益	10,323	11.9	+1.2	98.3	25,249	10.4	+6.5	99.3
経常利益	11,594	13.4	+23.4	112.5	26,395	10.8	+1.4	105.1
特別損益	△78	-	-	-	△70	-	-	-
当期純利益※	7,719	8.9	+22.5	117.9	18,352	7.5	+6.9	106.8

※ 親会社株主に帰属する当期純利益

財政状況及びキャッシュフロー

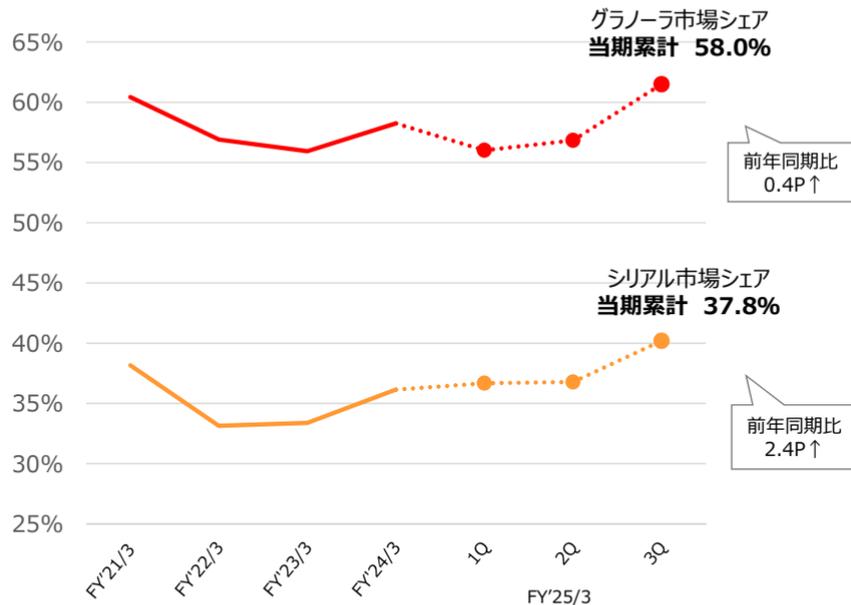
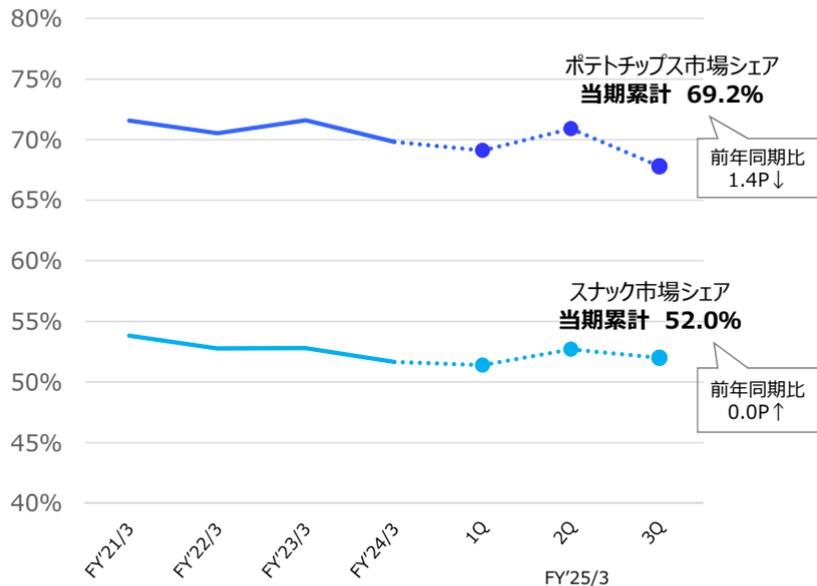
(百万円)	2024年3月末	2024年12月末	増減
資産合計	292,158	316,591	+24,432
流動資産	127,853	133,591	+5,737
固定資産	164,305	182,999	+18,694 *1
負債合計	91,072	101,044	+9,972
流動負債	54,475	53,937	△537
固定負債	36,596	47,106	+10,509 *2
純資産	201,086	215,546	+14,460
Net Cash	10,676	△18,046	△28,723
自己資本比率	65.6%	64.9%	△0.8pts

(百万円)	2023年12月末	2024年12月末	増減
営業活動による キャッシュ・フロー	3,644	8,922	+5,278 *3
投資活動による キャッシュ・フロー	△28,532	△31,028	△2,495
財務活動による キャッシュ・フロー	20,738	11,264	△9,473 *4

【補足】

- *1 固定資産：有形固定資産 +21,449百万円
(主にせとうち広島工場建設に係るもの)
- *2 固定負債：長期借入金 +10,000百万円
- *3 営業CF：売上債権の増減額 +12,420百万円
(前期末が月末銀行休業日による売掛金の入金ずれ)
- *4 財務CF：長期借入れによる収入 △15,000百万円

国内市場シェア



出所：(株)インテージSRI+ 全国全業態 金額ベース

当期累計：2024年4月～2024年12月
 前年同期：2023年4月～2023年12月
 FY'21/3-FY'24/3：2020年4月～2024年3月

スナック市場シェア：カルビーとジャパンフリトレーの合計
 ポテトチップス市場：ポテトチップス(生薄切り・生厚切り)・ポテトシュースト・ケトル合算、非公開PB含む
 グラノーラ市場：シリアル市場・グラノーラカテゴリ

本資料に関するお問い合わせ：

カルビー株式会社 IR

E-mail：2229ir@calbee.co.jp

<https://www.calbee.co.jp/ir/>

- グラフ上の事業年度表記はFY(Fiscal Year)を用いています。FY2025/3(FY'25/3)は2025年3月期を指しており、他の事業年度も同様に表記しております。特にその指定がない表記は、暦年を表しています。
- 本資料に掲載されている、当社の現在の計画、見通し、戦略などのうち、歴史的事実でないものは、将来の業績に係る見通しであり、これらは、現在入手可能な情報から得られた当社の判断に基づいております。当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績は、今後様々な要因によって、大きく異なる結果となる可能性があります。
- 本資料には、監査を受けていない参考数値が含まれます。